

統合医療に関する省内外の取組みについての調査

統合医療プロジェクトチーム

1. 調査の目的

統合医療について、その推進の検討が求められていることから、今後の取組方策等について検討するため、「統合医療 PT」が設置されたところである。統合医療は多種多様であり、これまで関係部局がそれぞれ独自に対応してきたところであるが、今後の検討にあたっては、省内外の現状把握が不可欠であることから本調査を行うことにした。

2. 統合医療とは

○医療には、近代西洋医学以外に、伝統医学、自然療法、ホメオパシー、ハーブ（薬草）、心身療法、芸術療法、音楽療法、温泉療法など多くのものがあり、これらを相補・代替医療（Complementary and Alternative Medicine, CAM）とよんでいる。

○これらの CAM を近代西洋医学に統合して、患者中心の医療を行うものが統合医療である。

（参考）

相補・代替医療の分類 ※

1) 伝統医学	4) 食事・ライフスタイル
①中国医学	①食事療法
②漢方	②断食療法
③鍼・灸	③健康補助食品
④アーユルベーダ(インド)	④水
⑤ユナニ(アラブ)	⑤ビタミン、ミネラル
⑥チベットなどの地域伝統医学	5) 心身相関
⑦ホメオパシー	①精神療法
⑧自然療法	②心理療法・催眠療法
2) 用手療法	③バイオフィードバック
①マッサージ	④瞑想
②指圧	⑤カウンセリング
③柔道整復・整骨	⑥ヨーガ療法
④カイロプラクティック	6) その他
⑤オステオパシー	①温泉療法
⑥リフレクソロジー	②磁気療法
3) 自然薬	③オゾン療法
①漢方薬	④気功
②ハーブ	⑤その他のエネルギー療法
③アロマセラピー	

相補・代替医療は、それぞれの民族が永年に亘って伝承してきた「民族の歴史」とも言える独自文化であるという性格から、国によって、或いは地域によっても異なる。

※米国、国立衛生研究所（N I H）作成を改変。（出典：日本統合医療学会「統合医療に関する提言」）

3. 調査の期間

○研究課題についての調査票

平成 17 年度以降に開始した研究を調査対象

○予算事業についての調査票

平成 21 年度に実施された予算事業または平成 22 年度に予定されている新規予算事業を調査対象

○要望書についての調査票

平成 20 年度以降に受理した要望書を調査対象

○その他についての調査票

平成 20 年度以降を調査対象

4. 調査の事項

「2. 統合医療とは」に示している（参考）「相補・代替医療の分類」のそれぞれの内容に係る下記の事項について調査

○研究課題についての調査票

相補・代替医療の分類、研究事業の名称、研究課題名、研究概要、研究期間（年度）、主任研究者、主任研究者の所属機関、予算額、連絡先、備考

○予算事業についての調査票

相補・代替医療の分類、予算事業名、事業概要、補助先又は委託先、予算額、創設年度、連絡先、備考

※予算事業の概要が分かる 1 枚紙を登録して下さい。

○要望書についての調査票

相補・代替医療の分類、要望書の提出主体、要望事項（事項名）、要望の概要、提出日、連絡先、備考

※要望書を登録して下さい。

○その他についての調査票

相補・代替医療の分類、概要、連絡先、備考

※その他該当すると思われるものを（幅広く）積極的に登録して下さい。